



自ら学び、進んで行動する

# キラリと光る励徳っ子

第40号  
R5.2.17発行  
文責 永田 功臣

## 『ようこそ先輩!』

～車いすランナー～

先週9日(木)に本校の卒業生である車いすランナーの渡辺優さんをお招きして、今年度のテーマである、「命・夢・ふるさと」に関連した講話をしていただきました。



この『ようこそ先輩!』という行事は以前行われていたようですが、コロナ禍の中で途切れていて、今回久しぶりの実施となりました。講師の渡辺さんについては、昨年TVで放映されましたので、それを見た児童もいましたが、その後出場された全国大会の二つの金メダルを実際に見た子どもたちは、さらに興味を持って話を聞いていました。



小学校時代、活発な子どもで一輪車等、外で遊ぶことがとても楽しかったこと、不慮の事故によって一時意識不明になったが、家族の支えで立ち直れたこと、「障がい者スポーツ大会」が希望と夢を与えてくれたことなど様々な話をしていただきました。



特に印象に残ったのは、「悩みはどう解決していますか」や「どうして頑張れたんですか」という子どもたちの質問に対して、「**家族や周囲の人の支え**」ということを何度もくり返しおっしゃっていたことです。これがまさに、今年度大切にしている「**ふるさと**」です。子どもたちにも「ふるさと」の大切さが十分に伝わった感じがしました。

### ～子どもたちの感想から抜粋～

- 一りん車でかいだんをおりたことがすごいなおもいました。てつぼうでさかあがりができます。でもがんばります。(田村ゆず)
- ぼくも、わたなべさんのようにつらいことがあっても、わらってすごせる人になりたいです。(北島羅偉門)
- 感しゃすることや友だちを大切にしていきたい。(中村陽希)
- 「ありがとう」や「ごめんなさい」の言葉を使って友達や家族に気持ちを伝えたい。(杉本月鈴)
- 心配をかけた人に金メダルをかけてあげたいというエピソードに心を打たれた。ぼくも剣道で優勝して母を喜ばせたい。(島村竜輝)
- どんなことがあっても、あきらめないことを学んだ。(谷澤龍輝)

## 私の大切にしたい「励徳フライド」

～中学校進学・最高学年進級に向けて～

ぼくが大切にしたい励徳フライドは、「発表」＋「優しくすること」です。  
なぜなら、中学校でも励徳小で身につけた力をいかして、自分なりの考えを持つことと、いろんな人に優しくして、いろんな人となかよくなりたいたいからです。  
そのために、あと2ヶ月間優しくすることと手をかならずあげることがいしきして生活します。

六年 森田 大輝

ぼくが大切にしたい励徳フライドは、「あいさつ」と「リレーシップ」です。  
なぜなら、あいさつをすることで、いろいろな人がいい気持ちになるし、企画委員会として、中学校でもみんなを引っ張っていけるように、人をまとめる力をつけたいと思うからです。  
そのために、日ごろから当たり前のことをしっかりテキパキして、みんなのお手本になれるような行動をします。

六年 増永 朔音

人との関係をよくするためには、「**信頼されること**」が必要です。そのために**自分から進んで行動**したり、**人のために心をくば**ったりします。教室に貼ってある「**考動**」はそういうことを指すのだと私は思います。これからも続けてください。

- ①手伝い
- ②発表
- ③あいさつ

## ちよこつとサイエンス



最近、トルコ・シリアで大地震が発生し多くの死者が出ています。また最近、熊本でも地震があり、平成28年の地震を思い出しました。みんなで「命」を守る行動を忘れないようにしたいものです。

さて、地震は地面が動いたり、割れたりして起こるものですが、どこにそのような**大きいエネルギー**があるのでしょうか。実は、地球の内部はとても熱く、物質がドロドロに溶けた状態です。その上に我々が住む地面が浮いているようなものなので、内部の物質が動けば地面が動き、地震につながります。内部の物質は長い間、**なぜ冷え固まらないのだろう**と思いませんか。それは、地下の放射性物質によって**新たに熱が作られている**からだそうです。どの説もあくまで予想ですが、地球についてじっくり考えてみるのもいいですね。